

新規採用・削除医薬品等通知

新規採用医薬品通知

(薬品名)	トレプロスト吸入液 1.74mg	劇
(英名)	Treprostinil	
(規格・含有量)	1 アンプル中 トレプロスチニル 1.74mg を含有	
(一般名)	トレプロスチニル	
(メーカー名)	持田	
【薬価収載日】	2023年3月	
【薬価】	1 アンプル 21,751.30 円	
【薬効コード】	219	
【薬効分類名】	プロスタグランジン I2 誘導体制剤	
【効能・効果】	肺動脈性肺高血圧症 間質性肺疾患に伴う肺高血圧症	
【用法・用量】	〈肺動脈性肺高血圧症〉 通常、成人には、1日4回ネブライザを用いて吸入投与する。1回3吸入(トレプロスチニルとして18 μ g)から投与を開始し、忍容性を確認しながら、7日以上の間隔で、1回3吸入ずつ、最大9吸入(トレプロスチニルとして54 μ g)まで漸増する。3吸入の増量に対して忍容性に懸念がある場合は、増量幅を1又は2吸入としてもよい。忍容性がない場合は減量し、1回最小量は1吸入とすること。 〈間質性肺疾患に伴う肺高血圧症〉 通常、成人には、1日4回ネブライザを用いて吸入投与する。1回3吸入(トレプロスチニルとして18 μ g)から投与を開始し、忍容性を確認しながら、3日以上の間隔で、1回1吸入ずつ、最大12吸入(トレプロスチニルとして72 μ g)まで漸増する。忍容性がない場合は減量し、1回最小量は1吸入とすること。	

詳細は添付文書等をご参照ください。

(薬品名)	フリュザクラカプセル 1mg フリュザクラカプセル 5mg	劇
(英名)	Fruquintinib	
(規格・含有量)	フリュザクラカプセル 1mg:1 カプセル中 フルキンチニブとして 1mg を含有 フリュザクラカプセル 5mg:1 カプセル中 フルキンチニブとして 5mg を含有	
(一般名)	フルキンチニブ	
(メーカー名)	武田	
【薬価収載日】	2024 年 11 月	
【薬価】	フリュザクラカプセル 1mg:1 カプセル 6,167.30 円 フリュザクラカプセル 5mg:1 カプセル 28,640.30 円	
【薬効コード】	4291	
【薬効分類名】	抗悪性腫瘍剤/キナーゼ阻害剤	
【効能・効果】	がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌	
【用法・用量】	通常、成人にはフルキンチニブとして 1 日 1 回 5mg を 3 週間連日経口投与し、その後 1 週間休薬する。これを 1 サイクルとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。	

詳細は添付文書等をご参照ください。

削除医薬品通知

ジゴキシン錠 0.25mg「AFP」

6/3 削除

供給不足により今後欠品の恐れがある薬品

ケナコルト-A 筋注用関節腔内用水懸注 40mg/1mL

セパゾン散 1%

セパゾン錠 2

供給再開によるオーダー再開について

マキュエイド眼注用 40mg

5/8 再開済

フェンタニル注射液 0.5mg「テルモ」

5/16 再開済

販売中止のお知らせ

グルコンサン K 錠 5mEq

5/14 オーダー停止

適応追加通知

バビースモ硝子体内 注射液 120mg/mL	<p>【効能・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性 ○糖尿病黄斑浮腫 ○網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫 ○脈絡膜新生血管を伴う網膜色素線条 <p>【用法・用量】</p> <p>〈網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫、脈絡膜新生血管を伴う網膜色素線条〉</p> <p>ファリシマブ(遺伝子組換え)として1回あたり6.0mg(0.05mL)を硝子体内投与する。投与間隔は、4週以上あけること。</p> <p>〈他.〉省略</p>
タグリッソ錠 40mg タグリッソ錠 80mg	<p>【効能・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○EGFR 遺伝子変異陽性の手術不能又は再発非小細胞肺癌 ○EGFR 遺伝子変異陽性の非小細胞肺癌における術後補助療法 ○EGFR 遺伝子変異陽性の切除不能な局所進行の非小細胞肺癌における根治的 化学放射線療法後の維持療法 <p>【用法・用量】</p> <p>通常、成人にはオシメルチニブとして80mgを1日1回経口投与する。ただし、術後補助療法の場合は、投与期間は36カ月間までとする。なお、患者の状態により適宜減量する。</p>
キイトルーダ点滴静注 100mg	<p>【効能・効果】</p> <p>悪性黒色腫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 ○非小細胞肺癌における術前・術後補助療法 ○再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫 ○根治切除不能な尿路上皮癌 ○がん化学療法後に増悪した進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する固形癌(標準的な治療が困難な場合に限る) ○根治切除不能又は転移性の腎細胞癌 ○腎細胞癌における術後補助療法 ○再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌 ○根治切除不能な進行・再発の食道癌 ○治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安 ○定性(MSI-High)を有する結腸・直腸癌 ○PD-L1 陽性のホルモン受容体陰性かつHER2 陰性の手術不能又は再発乳癌 ○ホルモン受容体陰性かつHER2 陰性で再発高リスクの乳癌における術前・術後薬物療法

	<p>○進行・再発の子宮体癌</p> <p>○がん化学療法後に増悪した高い腫瘍遺伝子変異量(TMBHigh)を有する進行・再発の固形癌(標準的な治療が困難な場合に限る)</p> <p>○進行又は再発の子宮頸癌</p> <p>○局所進行子宮頸癌</p> <p>○再発又は難治性の原発性縦隔大細胞型 B 細胞リンパ腫</p> <p>○治癒切除不能な進行・再発の胃癌</p> <p>○治癒切除不能な胆道癌</p> <p>○切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫</p> <p>【用法・用量】</p> <p>〈根治切除不能又は転移性の腎細胞癌、PD-L1 陽性のホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性の手術不能又は再発乳癌、進行・再発の子宮体癌、進行又は再発の子宮頸癌、治癒切除不能な進行・再発の胃癌、切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫〉</p> <p>他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人には、ペムブロリズマブ(遺伝子組換え)として、1 回 200mg を 3 週間間隔又は 1 回 400mg を 6 週間間隔で 30 分間かけて点滴静注する。</p> <p>〈他〉省略</p>
--	--